一般財団法人地域活性化センター　シニアフェロー

箕浦　龍一

一般社団法人　官民共創未来コンソーシアム
理事

＜略歴＞
平成 3 年 4 月　国家公務員任官（総理府・総務庁採用）
　沖縄開発庁、総理府広報室、福井県警察本部、総務庁人事局、総務省人事・恩給局、内閣官房行政改革推進本部事務局、総務大臣秘書官等を経て、2015 年 7 月、総務省行政管理局企画調整課長、2018 年 7 月行政評価局総務課長。2021 年 7 月、総務省大臣官房サイバーセキュリティ情報化審議官（内閣官房政府副 CIO 兼務）を最後に退職。
　総務省時代には、オフィス改革を中心とする働き方改革に取り組み、その実績により人事院総裁賞を受賞（両陛下に拝謁）。2017 年の日本行政学会では、「機動力の高いナポレオン型管理職」として紹介される。　2018 年には、中央省庁初となる中央省庁と基礎自治体との短期交換留学も実現するなど公務部門の若手人材育成にも取り組んで話題となった。
　2020 年 11 月、一般財団法人行政管理研究センターの協力を得て、「公務部門ワークスタイル研究会」を立ち上げ、その研究主幹に就任。
「軽井沢リゾート・テレワーク協会」や「金沢イノベーション・ハブ研究会」、食を通じて健康と医療を考える「フードメディシンネットワーク」など、様々なプロジェクト・コミュニティにも参画している。

＜得意とする分野＞
○働き方改革（全般）
○ワークプレイス（オフィス）改革
○テレワーク
○ワーケーション
○地方創生
○関係人口創出
○人材開発・人材育成

＜自治体等との連携実績等＞
〇総務省時代の短期インターン受入れに伴う継続的人材開発
　奈良県川上村
　高知県仁淀川町
　福島県西会津町
　長野県佐久穂町
〇ワーケーション自治体協議会結成に尽力（2019 年 7 月、11 月）
〇三重県庁「みえモデルワーケーション研究会幹事会」メンバー（2021 年 8 月～）
〇自治体主催研修・講演会等の講師実績
　島根県庁（平成 29 年 1 月）、奈良県川上村（同年 3 月）、千葉県松戸市（同年 7 月）、渋谷区議会（平成 30 年 2 月）、奈良県川上村（同年 5 月）、兵庫県神戸市（同年 8 月）、京都府庁（平成 31 年 1 月）、和歌山県庁（同年 1 月）、宮城県登米市（令和元年 5 月）、岩手県釜石市（同年 10 月）、山形県庁（同年 10 月）、秋田県湯沢市（同年 11 月）、長野県庁（同年 11 月）、金沢市議会（同年 11 月）、福岡県久留米市（令和 2 年 10 月）、岩手県庁（同年 12 月）、北海道富良野市（令和 3 年 2 月）、新潟県糸魚川市（同年 3 月）、岩手県議会（同年 4 月）、神奈川県相模原市（同年 7 月）、愛媛県西予市（同年 7 月）、福井県高浜町（同年 7 月）

＜その他特記事項＞
〇地域活性化センター講演実績
令和元年 10 月 18 日　「ワークプレイスの四次元化～知的創造(Create)のためのワークスタイル」
令和 2 年 11 月 15 日「「働き方」の変容とリモートワークの可能性～地方と都市をつなぐワークスタイル改革～」(地方創生カレッジ)
令和 2 年 11 月 20 日　「「リモート」が変える～地域活性化の新しい形～」
令和 3 年 7 月 9 日　「ワーケーションから始まる地域づくり～地域でつくる新しい働き方、暮らし方、関係性」

関連 URL：https://profiee.com/i/rmino